

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	観察実習（事前事後指導含む）				授業形態	実習			
科目コード	750107	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美							ICT活用	○
授業概要	<p>観察実習（幼）は、実際に幼稚園を訪問し観察を通して、一人一人の子ども、教師と子どものかかわり、子ども相互の関係、教師の援助のあり方等について理解を深めることを目的としています。</p> <p>観察実習は、保幼ブークの学生において、必要な基礎的実務経験の修得をめざす第一段階の実習として位置づけられます。具体的には、幼稚園を訪問し、それぞれ所属の現場教諭指導者のもと、子ども達の姿を観察することによって、幼児について理解を深めるとともに、幼稚園現場への理解を深めます。</p> <p>【汎用性能力の育成】 【態度・志向性の育成】</p> <p>観察実習前には、事前指導を行います。観察実習の意義や実習内容、保育参観の仕方や園児の観察の仕方、記録の取り方について学習します。また必要な準備物、参加心得などについても確認します。</p> <p>【知識・技能の育成】</p> <p>実習後には、事後指導を行います。観察実習で得た知見をもとに、保育・幼児教育の基礎的・基本的事項の重要性について考え、今後の教育実習に向けての学習の方向性を焦点化します。</p>								
関連する科目	履修後に「保育実習」「教育実習（幼）」を受講することが望ましい。								
授業の進め方と方法	<p>事前指導は、講義および演習形式の授業を行います。実習の心構えや身だしなみ、マナーを確認し、実習日誌の書き方を学びます。観察実習は、3日間、実際に幼稚園を訪問して実施します。毎日、観察した内容を実習日誌に記載し、考察を行います。事後指導は、グループディスカッション等にて実習の学びを深めるとともに、自らの学びや考えをレポートにて表現します。</p>								
授業計画	<p>&lt;事前指導&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習に向けての心構え 「実習の手引き」をもとに実習の流れや実習生としての心構えを確認します。</li> <li>2. 身だしなみ 身だしなみの整え方と正面写真の取り方について学びます。</li> <li>3. 実習日誌の書き方① 観察実習のねらいと内容を確認し、実習日誌を書くための観察の視点を学びます。</li> <li>4. 好感と信頼をあたえる接遇マナー 接遇の基本をはじめ、信頼が得られる仕事の進め方について学びます。</li> <li>5. 実習日誌の書き方② サンプル教材をもとに作成した実習日誌を確認し、観察や記録の方法を学びます。</li> <li>6. 実習直前確認 実習日誌事前記入事項や、身だしなみ、準備物について最終確認を行います。</li> </ol> <p>&lt;観察実習&gt;</p> <p>配属された幼稚園において3日間の観察実習を行います。 実習期間中に教員が巡回して指導します。</p> <p>&lt;事後指導&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 保育・幼児教育の営みについて考える ①実習における学びの共有</li> <li>8. 保育・幼児教育の営みについて考える ②保育の営みを記録する 観察実習を振り返り、自身の学びを確認します。それぞれの学びを共有することで、自身の課題について考えます。</li> </ol>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観察実習に参加する際の心構えほか、実習日誌の記録方法を習得することができる。 【知識・技能の育成】</li> <li>2. 子どもに対する理解を深めることができる。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】</li> <li>3. 幼稚園教諭の仕事の内容と役割を理解することができる。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】</li> <li>4. 保育実習・幼稚園教育実習に向けた自身の課題を把握することができる。</li> </ol>								
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)								

授業時間外学習【予習】	<p>観察実習に向けて、次の事項に積極的に取り組んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの発達段階について自主学習に取り組む。</li> <li>2. 観察実習に向けて、実習園について情報収集を行う。</li> <li>3. 実習日誌の記録や自身の保育技術向上のため、課外授業や自主学習に取り組む。</li> </ol>
授業時間外学習【復習】	<p>実習後には、観察実習および事後指導での学びを振り返り、自身の課題を明確にします。自身の課題の克服のためにどのような取り組みが必要かを考え、保育実習・教育実習にむけて実行してください。</p>
課題に対するフィードバック	<p>実習日誌、レポートは評価後、返却し解説をします。</p>
評価方法・基準	<p>学習への意欲的な取り組み 40点  ※原則として授業への遅刻・欠席、提出物の未提出（期限厳守）は認めません。  実習日誌 30点、レポート 30点</p>
テキスト	<p>『幼稚園教育要領解説』文部科学省（2017）フレーベル館、（240円＋税）  「実習の手引き」南九州大学</p>
参考書	<p>必要に応じて図書、資料を紹介します。</p>
備考	